

横浜いのちの電話

広報78号

2009.11.1

社会福祉法人 横浜いのちの電話

事務局 〒240-8691 日本郵便保土ヶ谷支店私書箱32号 TEL. 045-333-6163

発行人 永野 肇 横浜いのちの電話広報担当(岡本・澤野・水戸・堀木)

制作 Visual Communication Design Convivia



NO

いつになっても**人間関係の困難さ**を訴えてくる
電話が後をたちません

学校や職場、あるいは家庭での**いじめや**

いやがらせ (ハラスメント)がおこる背景には
一体何が潜んでいるのでしょうか

さまざまな**ハラスメント**をみると

加害者と、被害者と、傍観者の構図があるのですが

問題は**加害者**のみにあると単純には言えません

わたしたちの**人格の変容**は 極めて日常的な

わたしたちのあり方に問題を解く鍵がありそうです

スーパーバイザーの**有田モト子**さんに

話をうかがいました

ハラスメントの 背景にあるもの

困った人たち！？をどう考えるか

人格とはどういうもの？

——ちょっと困った人たちは、その行動が正常と異常の境界領域を揺れるのでボーダーラインと呼ばれる人格障害ではないかと聞いたことがあります。またモラルハラスメントのことを学んだときは、自己愛性の人格障害という言葉が出てきました。人格障害にもいろいろあるんですね。そこで今回は様々なハラスメントの背後にそのような人格障害がからんでいるのではと思ひまして、お話を聞いてみようということになりました。

有田:そうですね。ボーダーライン・パーソナリティーというのは境界性人格、境界例人格と訳されており、統合失調症と神経症との境界ということでは言われているんですね。統合失調症ほど重くはないが、神経症にしてはちょっと重たい、そのような中間帯にある人格とされています。

人格障害と言いますが、人格というものはみんな持っています。みんな持っているものは**一つの人格ではないんです**。人格、それは性格と言ってもいいと思いますので、この二つはほとんど同義語です。「パーソナリティー」という言葉を「人格」と訳しています。そして「性格」というと「キャラクター」という英語になりますね。この違いを語源的に見ると「キャラクター」はギリシャ語の「カラクター」から来ており、彫りこまれたもの、刻み込まれたものという意味です。持って生まれた遺

伝的な、素質的なものと見られているものですね。

一方「パーソナリティー」はラテン語の「ペルソナ」という言葉が語源で、もともとギリシャ劇の仮面のことです。仮面を被ることでその役柄を演じて行くという意味があって、その時々々の役柄の特徴・特性というものがその人の「パーソナリティー」ということですね。

更に遡るとその人の性格が作られるのは遺伝要因か、或いは環境要因かという分け方があります。大ざっぱに言うと、ヨーロッパでは遺伝によって人の発達は促される考え方が強いですね。だからヨーロッパでは人間の性格は遺伝によって刻み込まれていると考えられています。

それに反対の立場で研究したのがアメリカの学者で、最初に「キャラクター」ではなく「パーソナリティー」という言葉を用いたのは、ハーバード大学のオールポートという人でした。ですから性格も人格もほとんど同じ意味で使っているんですが、語源的には違いがあります。私たちは一つの人格を持っている訳ではなく、一つの性格でもない。すごく気まじめだったり、怠け者になったり、優しい面を持っている反面、人にすごく冷酷な部分があったりとか、私たちはみな沢山の性格・人格を持っていると考えていいと思われまます。

人格はひとつではない 個人が様々な人格を持っている

——個人は一つの人格であると思っていました。

有田：境界性人格の中にも自己愛性の人格もあるし、統合失調症性の人格も、反社会的な人格も、演技性や依存性の人格もみられます。

そういう風に色々な人格を沢山もっていて、その**人格が自分を悩ます度合いが強かったり、相手を悩ます度合いが強いと、これは人格障害ということになる**。「障害」ということは自分も困るし、相手も困ることだからなのです。性格があまりに極端なために、周囲の人がひどく困ったり、本人が苦しんでいる場合に人格障害となります。人格障害が問題となるのは、人格そのものというよりも、その人が何らかの片寄った行動をおこしている場合が多いからです。

——自分を困らせている人は、他者をも困らせてしまうという、イコールの関係が出来てしまうのですね。

有田：私たちの中にも自己愛性の人格というのはある。反社会性の人格だってある。

——今まで人格を二つ三つなどと考えたことがありませんでした。その人の人柄をパーソナリティーと思ってい

ました。確かに混在しているものを見ていくと本当に沢山あるのですね。

有田：人格障害という人格分けは、アメリカの精神障害の診断基準のDSMで定義されているものには10くらいに分類されている。

——いのちの電話にかけてくる人もそうですが、職場でいじめられるとか、家庭でご主人が言うことを聞いてくれないなどのハラスメントの被害者の話を聞くことがあります。そうすると攻撃する人の背後に人格障害が懸念されるわけなのですが、そういう人格障害の人に関わる時にはそれなりの注意が必要ではないかと思えてくるのですが。

ストレスで人格は変容する

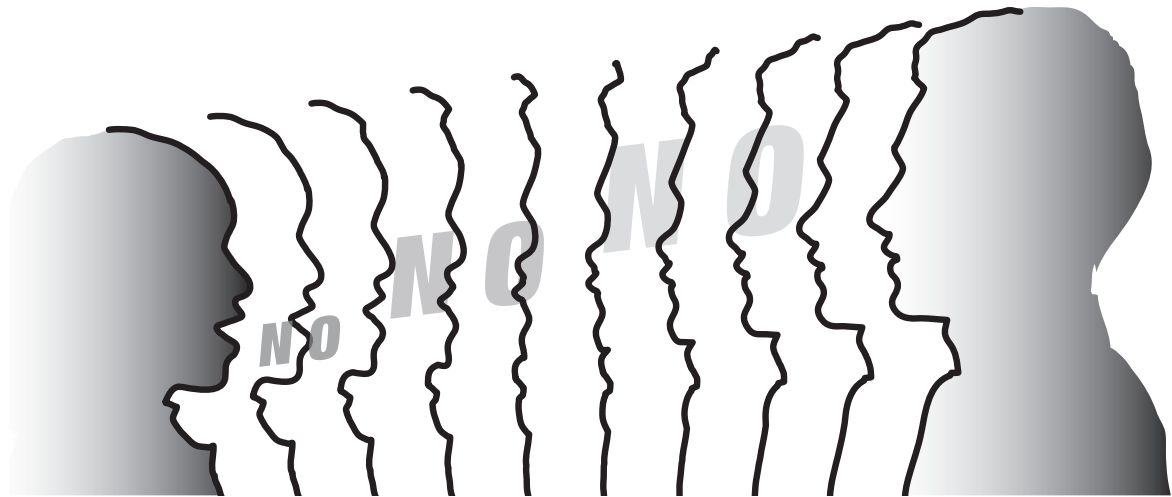
有田：人格障害とハラスメントというものを結び付けて考えるよりは、私たちが毎日生きて行く上で**ストレス**を受けていますが、そのストレスをどのように対処して行くかということが大事でしょう。**その対処の仕方が、その人のあり様であり、人格・性格というものがでてくるのです**。普段の職場で能力が高くくてテキパキとやっている人なのに、その職場のある人に対してすごいハラスメントをすることがある。ハラスメントとは社会的な価値観の中で起こる暴力と考えることができますが、セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント、モラル・ハラスメントなどがでてくる。やっている人の中にあるストレスへの対処の仕方がそういう形に出る可能性がある。ニュースの中で学校の教員が盗撮をしたなど、普段は社会的にも信頼されているはずの人たちで、とてもそんなことをしそうではない人たちが、**日常的に受けているストレスがとても大きくて、それが歪んだ形で出ている**と言えます。そういう時には反社会性の人格を露骨に出していると思われる。当然、社会的に認められるものではない。

実は反社会的な部分は私たちの中にも一杯ある。例えば私たちも職場で何か嫌なことがあると八つ当たりしたりしますよね。

——そうですね。忙しくなるとカリカリして怒りっぽくなっちゃいますね。

有田：そういうときは暴言を吐いたりしますよね。それもある程度の範囲内に収まっているから、ハラスメントにはならず済んでいる。こうして考えると**誰にでも起こりうることなんです**。

——今までその方面の本を読んだりしたのですが、ハラスメントの裏には人格障害的なものがあるのではないか



と思えるのですがどうなのでしょう？

有田：ハラスメントを起こす人たちは自分を表現するコミュニケーションスキルというものが下手な人たちだと思う。

——それは何らかの障害があるから下手になっているのでしょうか？

有田：多分自分を抑え込む力の方が強くて、素直で率直で自然な欲求や感情や自分の考えというものを表現することを抑え込み過ぎているのだと思う。許容量を超えるようなストレスを抱え込んでいるということもあるでしょうね。

——会社の経営者にもすごくワンマンで自分の考えだけを押し通し、他人の意見はすべてひっくり返してしまうような人が結構いますね。まさしくパワーハラスメントで、部下はイエスマンでないと務まらないし、ストレスがたまり続けます。

有田：そういう時にその人に楯ついたら職を失ってしまうとか、生活が成り立たなくなってしまうとかという弱みを持っていて、ハラスメントを行う人はその弱みが分かっているから、相手には思い切り言っちゃう訳ですね。言われた側はすごく精神的に不安定になり、傷つきます。まわりも見ても見ぬふりをしてしまう。

——まさにいじめですね。こどもの世界だけでなく、大人の世界でもあるのでしょうか。それは人格障害を持っているからそういうことをするのか、或いはそもそも人間にはそのようなものがあるのか、どちらなのでしょう？

有田：相手を踏みにじる出し方をすることが問題なのです。「人格障害」という言葉を使うよりも、私たちはその人格をみんな持っているのです、私たちもそれに該当する。DSMに書かれている人格障害は精神科の医者が診断する時の基準ですから、項目が幾つも並んでい

てそれに幾つ以上該当するとその人格障害ですと診断されるわけですが、それを読んでみると私も該当する項目がいっぱいある。人格の特性としてそういう傾向があるのであって、それでも健康に動いていることもあり、ちょっとマイナスに動いてしまうこともある、その程度くらいで見た方がいいかなと思う。

NOをいうことが大切

有田：ハラスメントを受けた人が然るべき社会的な資源をつかって、自分の身を守るという対策を取らないといけないと思う。時には法的な手続きを取ってもらうということが大事だと思う。最近は社会的に声を上げて、そのような体制が整うようになってきました。

——ハラスメントに対して自分が嫌だと思っていることをきちんと言うことは難しいですね。

有田：「そう言われると傷つきますので、そのようなやり方はしないで下さい」と言うことはすごく勇気がいることですが、それをきちんと言うことは大事なことです。いわゆる「NO」と言う力を育てる大切さだと思うのですが、言われた事実に対して「やめて下さい」ということが大事ですね。「そんなことを言うあなたはろくでもない人だ」と言うような感情的な言い方はまずいですね。

——仕掛けて来る人にゲーム的なところがあり、エンドレスな嫌がらせの中にはめ込むようなこともありますよね。そういう時も被害を受けている側が「NO」をハッキリとつきつけて、関係を改善して行くことが大切なのですね。

有田：「そういう強い口調で言われると、私は安心していられなくなるので、止めて下さい」とやっている行為・行動について「NO」をハッキリ言うことがとても大切なことだと思います。時には、その場から逃げることも必要かもしれません。 ■



インフォメーション



【日誌 2009.5~2009.10】

2009年

- 5/02 相談員委員会
- 07 相談関連部会
- 08 春の映画会「山桜」
- 10 フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」
- 11 「広報77号」発送
- 13 内部監査・理事連絡会
- 20 2009年度第1回理事会・第1回評議員会
- 22-24 2009年度養成宿泊研修(2泊3日)
- 24 研修担当者会
- 25 フリーダイヤルプロジェクト会議

- 6/01 神奈川県自殺対策会議
- 04 相談関連部会
- 05 日本いのちの電話連盟定期総会
- 06 相談員委員会・心理専門相談運営委員会
- 10 フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」
- 17 事務局会議
- 19 ファクス相談部会
- 28 研修会(浜松いのちの電話外国語相談)

- 7/01 理事連絡会
- 02 相談関連部会
- 04 相談員委員会
- 08 事務局会議
- 10 フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」
- 13 「2008年度事業報告」発送・神奈川県自殺対策会議
- 24 心理専門相談懇談会・神奈川県自殺対策会議
- 25 第1回全体研修会「危機介入ロールプレイ」
- 27 理事・評議員選考委員会
- 30 第1回全体研修会「危機介入ロールプレイ」

- 8/07 エイズ文化フォーラム開会式
- 10 フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」
- 24 2009年度第2回理事会
- 28 2009年度第2回評議員会

- 9/01 パーステイルライン(開局記念)
- 03 相談関連部会
- 05 相談員委員会
- 10 フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」
- 10 フリーダイヤル告知カード配布(横浜駅)
- 10 かながわ自殺対策会議・街頭キャンペーン(横浜駅)
- 15 スーパーバイザー懇談会・ファクス部会
- 17 日本いのちの電話連盟法人化設立総会
- 18-19 全国事務局長会議(宮城島島)
- 23 2008年度養成研修・中間評価会議
- 25 広報企画会議
- 26 「2008年度事業報告」説明会
- 28 事業支援委員会運営会議

- 10/03 相談員委員会・東日本広報担当者会議(秋田)
- 08 事務局会議
- 8-9 全国研修担当者セミナー(北海道)
- 10 フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」
- 13 2009年度第3回理事会
- 16 秋の催し「寺井尚子JAZZ CONCERT」
- 24 日本語相談員の集い
- 28 講演会(逗葉地区保護司会・厚生保護女性会)

編集後記

有田さんのお話をうかがって、人格障害ということばで特別な犯人捜しをするより、だれしも人格の特性としてそういう傾向があることを教えられた。またハラスメントに苦しむ人に遭遇したときは、まずしっかり「NO」を言うことを支えていきたいと思う。(ほ)

クリスマス・歳末募金のお願い

目標 **300万円**

昨年は2,000,210円の募金がありました。皆様のご協力に感謝いたします。今年度もよろしくお願ひいたします。

ご寄付は税法上の優遇措置の対象となり、法人は損金算入、個人は寄付金控除が受けられます。

- 振込先
- 郵便振替 00240-3-15191
- 社会福祉法人 横浜いのちの電話
- (振り込み手数料は無料です)

社会福祉法人横浜いのちの電話

2010年度 電話相談ボランティア募集

かけがえのない生命を尊重し
対話する電話相談ボランティアです。
あなたも参加しませんか!!

電話相談ボランティアは、1年間の養成研修修了後、電話相談員として認定されます。

【応募資格】 年齢 **23歳** から **65歳** まで
(2010年3月31日現在)

【応募期間】 2009年12月1日(火)
~ 2010年2月5日(金)

【募集人数】 **40名**
【研修期間】 2010年4月~2011年3月
【研修受講料】 7万円(3回分割納入)
【応募方法】 **90円切手**を同封の上、事務局へ「募集要項」をご請求ください。
●ホームページでも入手できます。
<http://www.yind.jp/>

〒240-8691
日本郵便保土ヶ谷支店 私書箱32号

公開講演会

2009年度 自殺予防のための厚生労働省補助事業 公開講演会

「絵のこと、生命(いのち)のこと」

講師 窪島誠一郎氏(作家・無言館館長)
日時: 2010年1月29日(金) 19時~
場所: 横浜市港南区民文化センター
ひまわりの郷

参加費: 無料 定員: 300名
受付は11月24日(火)から電話にて事務局まで

横浜いのちの電話 事務局
☎ 045-333-6163 (月~金 9時~17時)

神奈川県共同募金会からの配分金

平成21年度は、ベッドチェアを購入しました。深夜担当者の休憩に役立つと思います。

横浜いのちの電話 春の映画会

マルタのやさしい刺繍



- 日時 2010年3月12日(金)
 - 会場 関内ホール(大) 全席自由
 - 前売券 ¥1,000 / 当日券 ¥1,200
- お申込み・お問合せ ☎ 045-333-6163

アルプスの国 スイスから届いた、遅咲きの乙女たちが紡ぎだす、心あたたまる物語

スイスの小さな村、トループ村に住む80歳のマルタは、最愛の夫に先立たれて生きる気力をなくし、意気消沈の毎日をただなんとなく過ごしていた。そんなある日、彼女は忘れかけていた若かりし頃の夢、「自分でデザインして刺繍をしたランジェリーのお店をオープンさせること」を思い出す。しかし保守的な村では、そんなものはハレンチだと大騒ぎ...



ひとりぼっちで悩まずに...

だれかと話したいとき ころろ寂しいとき

横浜いのちの電話相談

045-335-4343 (24時間体制)

●ファクス相談(聴覚言語障害者のための)

045-332-5673

●エイズ相談 045-335-4343

外国語電話相談

●ポルトガル語 045-336-2488

●スペイン語 045-336-2477

●情報サービス 045-335-0092

(ポルトガル語・スペイン語・タガログ語による)

<http://www.yind.jp/>